

# R-101 メンテナンス方法 ①

## サイクロン及びチャフ受けの清掃

### ●サイクロンの清掃

サイクロンは焙煎中にファンで吹き出される煙とチャフと呼ばれる薄皮を分離しチャフをサイクロン下部のチャフ受けBOXに落とし、煙や空気をダクトを通じて外部に出るように設計されております。  
焙煎をすると豆の種類により1バッチでかなりチャフが溜まる場合がありますので、5バッチ程度焙煎をした後にサイクロン下部の掃除点検口を開けてチャフを取ってください。取り除かずに放って置くと分離されず、空気や煙と一緒に外部に飛び出してしまいます。

**※掃除をする際は、必ず本体スイッチを切った状態で行ってください。**  
(スイッチを切らないとチャフが飛び散ってしまいます。)



サイクロンにチャフが溜まったままで焙煎を続けると、排気が悪くなったりサイクロンから外部にチャフが飛びだしてしまいます。

### ●本体チャフ受けの掃除



**※火傷に注意してください。**  
前カバーとシリンダーの隙間から本体チャフ受けにチャフや欠けた豆などが落ちるので、焙煎終了後に清掃してください。

# R-101 メンテナンス方法 ②

## 排気ファン及びファンケースの清掃

※焙煎機本体の元電源のコンセントを抜いて清掃中に事故等が起こらないようにしてください。

### ●排気ファン及びファンケースの清掃

焙煎を行うとファンやファンケース内部に油分を含んだカスが付着し放って置くと層をなして堆積してきます。

この油分を含んだカスに火が着き**火災の原因**となります。

一度燃えるとなかなか消えず消火作業も困難で**危険**です。

ファンが溶けたり、ダクトが変色したり故障にもつながります。

又カスが堆積してくるとファンの能力が低下し焙煎機の能力に影響します。

ガスの**不完全燃焼**の可能性もあり、定期的に掃除するように心がけてください。

### ●清掃の仕方

ロースター後部下に内蔵されているファンを取り出します。

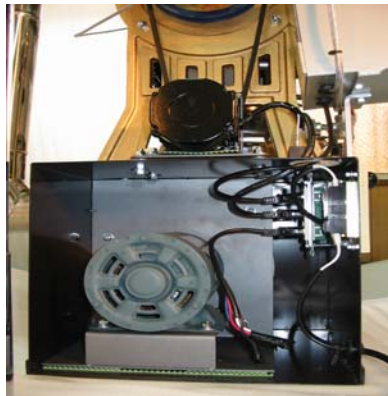
ファンモーターの右側にコンセントがありますのでファンモーター電源のコンセントを抜きます。

ファンは取り付けベースに6mmの+(プラス)頭のネジを4箇所止めてあります。

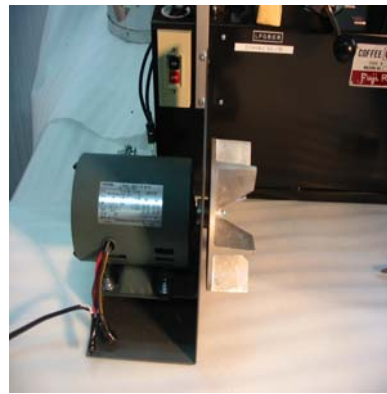
これを外し取り付けベースごと取り出します。

取り出したファンとファンケース内部が出てきて掃除できるようになります。

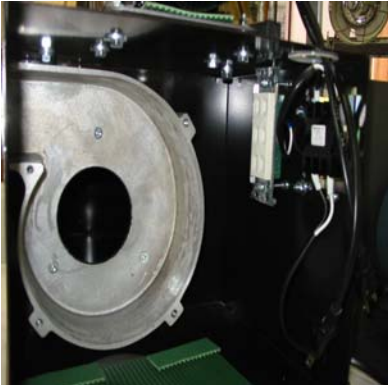
スクレーパーやワイヤーブラシといった道具を使ってきれいにカスを取り除いてください。



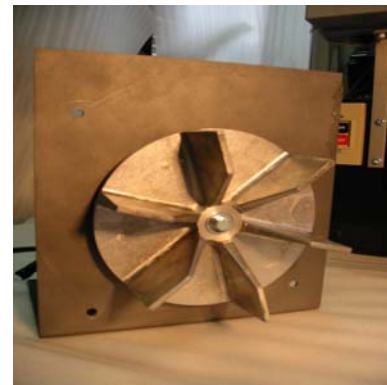
①ファンが内蔵されています。



②ファンを取り出した写真



③ファンケース内



④ファンの拡大写真

# R-101 メンテナンス方法 ③

## ロースター内蔵ダクトの清掃

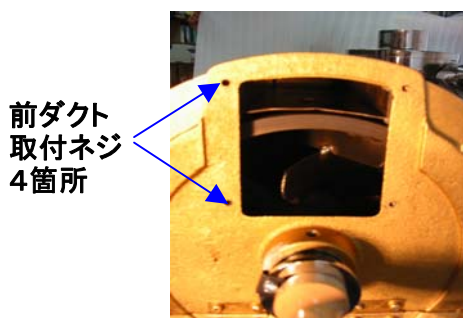
※焙煎機本体の元電源のコンセントを抜いて清掃中に事故等が起こらないようにして下さい。

### ●内蔵ダクトの清掃

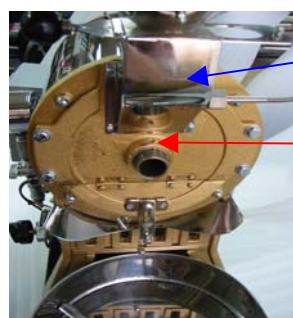
焙煎を行うと内蔵ダクト内部に油分を含んだカスが付着し放って置くと層をなして堆積します。この油分を含んだカスに火が着き**火災の原因**となります。一度燃えるとなかなか消えず消火作業も困難で**危険**です。又カスが堆積してくるとファンの能力が低下し焙煎機の能力に影響します。ガスの**不完全燃焼**になる可能性もあり、定期的に掃除するように心がけてください。

### ●清掃の仕方

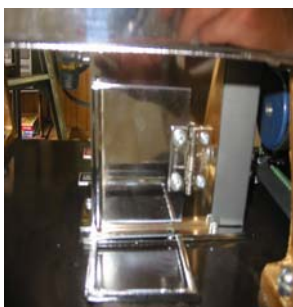
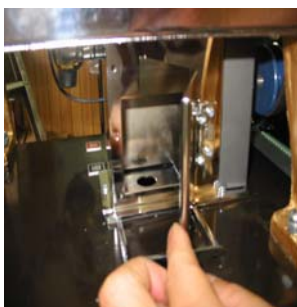
ロースター前部の前ダクトを外した場所に内蔵されているダクトを掃除します。前ダクトは4mmの+（プラス）頭のネジで4箇所止めてあります。これを外しホッパーごと前ダクトを取り外します。写真の部分から内蔵ダクト内部をワイヤーブラシや細い棒などできれいに掃除します。



①前ダクトを外します。



②前ダクトを外した写真



# R-101メンテナンス方法 ④

## つなぎダクト・サイクロン立上りダクト

※焙煎機本体の元電源のコンセントを抜いて清掃中に事故等が起こらないようにして下さい。

### ●つなぎダクト・サイクロン立上りダクトの清掃

焙煎を行うとダクト・サイクロン内部に油分を含んだカスが付着し放って置くと層をなして堆積してきます。

この油分を含んだカスに火が着き**火災の原因**となります。

一度燃えるとなかなか消えず消火作業も困難で**危険**です。

ダクトが変色したりガスの**不完全燃焼**にもつながります。

又カスが堆積してくるとファンの能力が低下し焙煎機の能力に影響します。

定期的に掃除するように心がけてください。

### ●清掃の仕方

つなぎのダクト・サイクロン立上りダクトをそれぞれ接続部分で差込みをはずし、掃除を行います。

ダクトは両端から、サイクロンは下部掃除口や立上りダクト接続口から内部に溜まったカスをきれいに取り除いてください。

清掃の目安は使用状況によって変わりますが、150バッチほど焙煎したら清掃してください。



本体～  
サイクロン  
つなぎダクト



サイクロン  
掃除口

①ロスター背面のつなぎダクト

②掃除口を開いた写真

**サイクロンの立上りダクト**  
\* 設置場所により立上りダクトの長さや曲がり等変わりますが、サイクロンから先のダクトもきれいに掃除する必要があります。

